

橋本白道(リキオ) Rikio Hakudo Hashimoto

1950年1月3日生まれ

住所 / 郵便番号 696-0702 島根県邑智郡美郷町上野143

職業 / 陶芸家。随筆家。ビデオドキュメンタリー作家。

履歴

1868年-1972年。立命館大学、文学部哲学科。(梅原猛教授に学ぶ)

1972年-1973年。京都、清水の窯元にて陶芸を学ぶ。

1973年-1977年。岡山県備前の窯元にて陶芸を学ぶ。

1978年。東明禅寺境内に穴窯を作る。(佐賀)

1995年。工房を移転、穴窯をつくる。(佐賀)

1999年-2000年。スウェーデン、ヘリデン国民大学、陶芸科。

(陶芸、テキスタイル、銀細工、写真、リトグラフィーを学ぶ)

2000年-2001年。HDK(ホーデコー)陶芸科、(スウェーデン、ヨーテボリ大学)

(デザイン&クラフト大学にて透明な焼き物の研究)

2001年。穴窯プロジェクトに参加(ノルウェー、リソール)

2001年-2002年。ヴィルニユス アート アカデミー映像学部。(リトアニア)

(写真&ビデオ学科にてドキュメンタリー製作を学ぶ)

2001年-2002年。ミュージック アカデミー映像学部。(16ミリフィルムの編集を学ぶ)(リトアニア)

2004年 リトアニア穴窯プロジェクトに参加(リトアニア、ゴユース)

2005年 リトアニア穴窯プロジェクト「Fire of dragon」

2005年 国際盆栽展 楽シンポジウム(リトアニア、アリス市)

2005年~2007年。JICAシニアボランティアとしてドミニカ共和国に派遣

2006年 キューバ国際陶芸シンポジウム参加(カマグエイ市、キューバ)

2007年 サントドミンゴ市の王立美術館にて展覧会。

2007年 11月帰国。12月島根県的美郷町にベアトリーチェと共に陶芸工房をたちあげる。

2008年 春、地域住民グループ「ヴィエント」の支援を受け穴窯築造。

2008年 秋、初窯を焚き、移住1年目の12月1日にグループ「ヴィエント」の人達と共に窯出しを祝う。

2009年 春、上野の自宅陶芸工房にて初めての作陶展をひらく。

2010年 春、松江・月照寺にて作陶展。

2010年 秋、ベアトリーチェと共にオールセン式の窯を築造。

2010年 12月 キューバ国際陶芸シンポジウムに参加。

2011年 春、上野の自宅陶芸工房にて2回目の作陶展をひらく

2011年 秋、出雲・高瀬川ギャラリー。松江・月照寺にて作陶展

2012年 春、スウェーデン・プロジェクト。デンマーク・プロジェクト

2015年 冬、(1月~3月)インド陶芸調査旅行

2016年 ブラジル(1月~3月。半世紀前にブラジル移民として渡った陶芸家達を訪問インタビュー)

2017年 ブラジル(1月~3月。アデル氏の穴窯工房に滞在。Palhano, Escola Guignard, UFSJなどでワークショップを行う)

2017年 ブラジル学生支援プロジェクト(ブラジルの学生数人が秋に3ヶ月間、僕の工房で研修する)

作陶展 / 遥風堂ギャラリー (四国 , 松山) 。ギャラリー窯楽 (大阪) 。吉田神社 (京都) 。
HDKギャラリー (スエーデン、ヨーテボリ) 。テイダホルム美術館 (スエーデン、テイダホルム)
王立美術館 (ドミニカ共和国、サントドミンゴ市) 月照寺 (松江市) 高瀬川ギャラリー (出雲市)

ビデオドキュメンタリー作家としての履歴 / 上映会

2006年。『穴窯プロジェクト in Lithuania』 (キューバ、カマグエイ市)

2001-2004。

* フィルムプリズン『ツエッペリーニ』他8本。ゴシックホール (リトアニア、ヴィルニユス芸大)

* 『スニエガ』『フルーツボール』オープンソサイアティーフアウンデイション (リトアニア)

* 『スニエガ』『トラカイ』 (ポーランド、プロツラフ)

* カフェドシネマ 2日間。音楽の生演奏とワインと映画の午後。

演劇, 音楽, 映画美術館 (リトアニア, ヴィルニユス)

* 『スニエガ』『トラカイ』エイブルホール (佐賀)

* 『如庵陶房』国際盆栽展 (リトアニア, アリトス)

* 『如庵陶房』『穴窯プロジェクト』国際陶芸シンポジウム (リトアニア, パナビジェ)

随筆家としての履歴 / 朝日新聞。西日本新聞。佐賀新聞。